

クラス別選手権SAクラス 競技種目と注意事項(2025～)

全4系列(総計28種目)を一覧にまとめています。太い枠線で囲まれた一群の技を、一つの系列とみます。

	SLC レベル№.8	注意事項
1	飛行機～タップうらはねけん	
2	ペンギン飛行機～はねけん	ペンギン持ちで構えたとき、糸の長さを変えてはならない
3	飛行機～はやて中皿 ～回転さか落とし	
4	灯台～うら一回転すくいけん	
5	つるし二回転灯台	

	SLC レベル№.10	注意事項
1	螺旋飛行機	・半螺旋飛行機、二回転螺旋飛行機等にならないこと。 ・内かけ、外かけはどちらも可。
2	ふりけん～うらけんフリップ地球まわし	・地球まわしのとき、玉は手前に回転すること(通常の地球まわしと同じ)。 ・構えたときの持ち方:とめけんの持ち方 持ち替え後の持ち方:とめけんの持ち方に準じる持ち方。 ・うらけんフリップは「風車」でも「つむじ風」でもよいが「うら回転」。
3	二回転はねけん	・飛行機～二回転はねけんの流れ。
4	一回転とめけん	・すくい玉にならないこと。水平までは可。
5	飛行機～けんフリップとめけん	・すくい玉にならないこと。水平までは可。 ・飛行機の後、に、けんを持ち替えるとき、けんの回転は1.5回転とする。 (=1.5回転スワップけん)

	SLC レベル№.9	注意事項
1	二回転飛行機	
	玉つきさし～さか落とし	・～さか落としは回転さか落としの動きで成功させること
	大皿～けんフリップ灯台 ～さか落とし	・大皿はおしゃもじ持ち、大皿持ちどちらでも構わない ・～けんフリップの部分はけんが玉と一緒に動いても、けんが遅れて動いてもどちらでも構わない
4	ヘリコプター	・けん先は手に触れて構わない ・回転後は大皿と小皿以外の皿胴およびけんに触れないこと けん先が手に触れるのは構わない ・技を通じて、玉の穴の位置は問わない
5	エベレスト	・ろうそくの持ち方で、小皿のふち→中皿→大皿のふち、の順に玉をけんのにのせる。 ・途中静止および完全静止を行うこと ・玉は回転させないこと。

	SLC レベル№.11	注意事項
1	ハイパーライジング飛行機	技は片手で行うこと。
2	円月殺法～うぐいす	・うぐいすは「大皿」でも「小皿」でもよい。 ・うぐいすは「前ふりうぐいす」になること。「前ふりとめけん」のような軌道にならないこと。
3	招き猫はねけん	・構えた時、小皿を下にして手の甲にけん玉を置く。 ・構えた時、玉が手前側に向くこと。 ・構えた時、玉が腕に触れていても可。
4	風車天中殺	・構えた時、とめけんの持ち方や、俗に言うガンマン持ち等、持ち方の詳細は問わないが、けんを持つ手の人さし指を軸にして皿胴をかけてけんを1回転させること。 ・「風車」なので「つむじ風」は不可。フリップではない。
5	極意わたり	・すべり止め極意→中皿極意 でも 中皿極意 → すべり止め極意 でもよい。